

平成23年度 第1回 役員会議事要旨

日 時 平成23年4月13日（水） 10時30分～11時35分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，米倉理事，宮崎理事，緒方理事

オブザーバー 後藤学長室室長

- 学長から，平成22年度第28回及び第29回の役員会議事要旨の確認依頼があった。

【審議事項】

(1) 国立大学法人佐賀大学表彰規程の一部改正について

学長から，本件は，感謝状の授与について，表彰規程を整備することに伴う改正である旨の説明があった。

また，総務部長から，本学職員就業規則第52条（表彰の方法）では，表彰状又は感謝状を授与できるとなっているが，本学表彰規程第4条では，表彰状のみが対象となっているため，今回，新たに同規程に感謝状の授与もできるように改正する旨の補足説明があり，審議の結果了承された。

その後，理事から，感謝状の対象となる範囲について意見があった。

(2) 職員への感謝状の贈呈について

学長から，本件は，全学教育機構の設置にあたり，同機構の銘板作成にご尽力いただいた，竹之内文化教育学部教授と井川同学部講師に対し，また，竹之内教授は，附属図書館の施設名称の揮毫もされていることから，謝意を表したい旨と今回の銘板作成を学内者で実施できたことを学外にアピールできたことなどから，両名に感謝状と研究費を贈呈したい旨の説明があった。

また，総務部長から，今回の感謝状贈呈の根拠となる本学表彰規程第3条第3項について補足説明があり，審議の結果了承された。

(3) その他

特になし。

【協議事項】

(1) 国立大学法人佐賀大学教員人事の方針の一部改正について

学長から、本件は、本学におけるポートフォリオの導入に伴い、教員人事を行う際にティーチングポートフォリオを選考の指標とすることができるよう、本方針にある評価方法の例示の中に、ティーチングポートフォリオの名称を加えるための改正を行うものである旨の説明があった。

また、瀬口理事から、本学においても年度計画に従い、ティーチングポートフォリオの導入に向けた準備を進めている旨及びティーチングポートフォリオを導入している大学が増えていることなどから、教員選考の指標の例示の一つとして選択肢が増え、意義あるものとなる旨の説明があった。

さらに、総務部長から、本方針の改正案について補足説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(2) 佐賀大学総合情報基盤センター規則の一部改正について

学長から、本件は、総合情報基盤センターに特任教員を置くことができるようにするため、センター職員の条文を改正する旨の説明があった。

また、総務部長から、本件の趣旨として、同センター所属の准教授が国立情報学研究所に特任准教授として出向予定であり、その後任補充に特任教員を置くことができるように、総合情報基盤センター規則第4条（職員）に第2項として追加する旨の補足説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(3) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 国立大学法人の中期目標を達成するための計画（中期計画）の変更の認可について

総務部長から、本件は、ボート艇庫の土地を譲渡することに伴い、中期計画の変更申請が必要となったもので、1月12日開催の役員会で協議了承され、同月17日開催の経営協議会及び臨時役員会において審議了承され、同日付けで、文部科学省へ変更の認可申請を行い、認可された旨の報告があった。

(2) 平成23年度入学者数について

学務部長から、平成23年度の入学者数について、学部1,387名、編入学41名、大学院修士及び博士前期課程327名、大学院博士及び博士後期課程48名、合計1,803名の入学者が確定したこと及び学部入学生の40%を福岡県出身者で占めていること、編入学生の定員割れが継続していること、大学院生の工学系研究科博士後期課程で充足率が90%を割っていること、自宅通学者が増えていることなどの特徴について報告があった。

また、総務課長から、市営バスの直行便利用について、2日間の実情調査に関しては、利用率が良いことが報告された。

その後、監事から、編入学生の定員割れについて、教員の方々の負荷がかからないような対応も含めた定員補充を再度検討願いたい旨の要望があった。

(3) 平成22年度佐賀大学研究プロジェクトの評価について

中島理事から、本研究プロジェクトは3年間を基本とするもので、平成22年度で終了する研究プロジェクトが2件、平成22年度から始まった研究プロジェクトが1件あり、継続するか否かを年度ごとに、被評価者(部局)以外の教育研究評議会研究推進部会員2名が評価項目について評価し、最終的に研究推進部会で総括評価を行っている旨と3件とも概ね計画どおりである旨の報告があった。

(4) 平成23年度新規佐賀大学研究プロジェクトの選定について

中島理事から、本件については、平成22年度の評価結果に基づき、継続する研究プロジェクトが1件、平成23年度からの新規研究プロジェクトが研究推進部会8名全員による評価で決定した4件の合計5件となった旨及びプロジェクト予算に残額があるため、今後新たに公募採択する予定である旨の報告があった。

(5) 平成22年度就職内定状況について(4月1日現在)

学務部長から、本件について、学部で90.5%の内定で前年比1.7ポイント減、大学院で94.3%の内定で前年比0.1ポイント減、合計で91.4%の内定で前年比1.3ポイント減となった旨の報告があった。

また、2月1日現在との比較では、学部で14.1ポイント増、大学院で9.5ポイント増、合計で13.0ポイントの内定増となり、ほぼ前年度並みになった旨と5月1日現在で最終報告及び分析を行う旨の説明があった。

その後、監事から、今後につなげるためにも内定の量だけでなく、質の分析を行っていただきたい旨の要望があった。

(6) その他

○「会議の効率的な運営のために」(たたき台)について

学長から、本件については、学長室会議において、会議及び委員会の開催数を今までの2/3とすることを大きな目標とし、そのための対応として会議の進め方等を検討している旨及び本件を検討することで、重複すると思われる委員会の統合等を摸索していきたい旨の報告があった。

また、学長室室長から、30余りある全学委員会のうち、10個程度を統合すること及び委員会の委員数を含めた抜本的な改革が必要との補足説明があった。